

新たなごみの資源化施設について

新たなごみの資源化施設について、2023年9月の行政報告以降の進捗状況等を報告します。

1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

資源ごみ処理施設整備は、5月に改定した町田市資源循環型施設整備基本計画に基づき進めています。

（1）相原地区資源ごみ処理施設について

相原地区については、相原地区資源ごみ処理施設連絡会を11月4日に開催し、資源ごみ処理施設並びに（仮称）大戸広場（都市計画名称：相原大谷戸緑地）の整備事業の進捗状況について報告しました。

【主な報告事項】

- ・町田市循環型施設整備基本計画の改定について
- ・相原地区資源ごみ処理施設の市民利用スペースの設え（案）について
- ・（仮称）大戸広場の進捗状況の報告について（基本設計から）

（2）上小山田地区資源ごみ処理施設について

①忠生579号線の整備

資源ごみ処理施設の整備に必要な忠生579号線の整備については、今年の夏に、地元の中で早期事業化に向けた動きが活発になり、忠生579号線の沿道住民の方、及び田中谷戸街づくり協議会から現道拡幅を基本とした拡幅整備の要望書が提出されました。

これを受けて市では、改めて街づくり協議会などと調整を行い、現道拡幅を基本として、小山田バス停付近を起点に、沿道に住宅がある区間を第一期、その西側を第二期として2区間に分割し、事業の推進を図ることとしました。

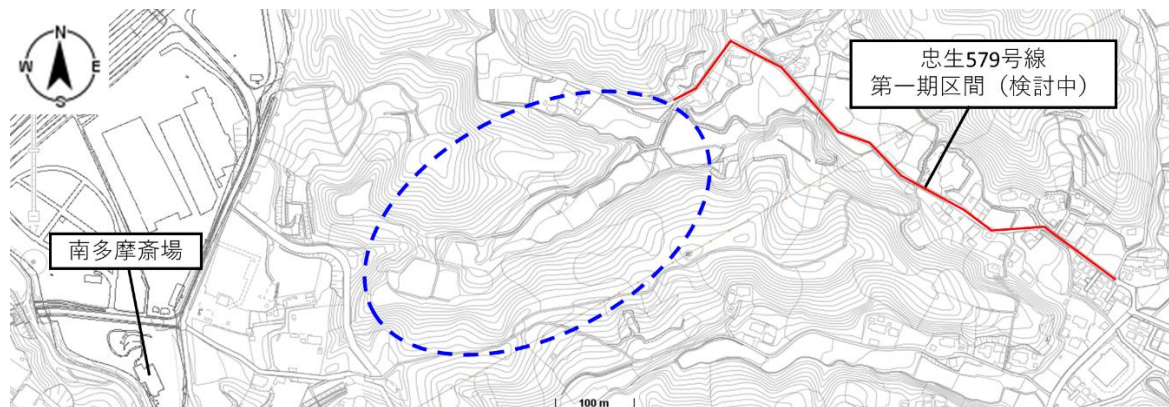
②施設計画位置の再検討

道路整備が現道拡幅に変更となったことに伴い、資源ごみ処理施設への接道条件が変更となる為、整備される道路から施設へのアクセス道路が必要となります。

なお、現在の施設計画位置は、現道との高低差が大きく、アクセス道路が急勾配となることが見込まれます。

施設計画位置周辺の町田市が保有している土地を中心として、土地の高低差、造成規模などを考慮した施設計画位置の再検討を行います。

引き続き関係者との協議および調整を行い、地域のご理解を得ながら整備事業を進めます。



【検討範囲】

2 町田市バイオエネルギーセンター（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

（1）工事の進捗状況

旧清掃工場の杭引き抜き工事を進め、11月末時点で引抜予定の約1,100本のうち約930本の引き抜きが完了しています。また、11月からはストックヤード棟建設のため造成工事に着手し、造成工事に必要な土の搬入を行っています。

工事にあたっては、引き続き、周辺への配慮に努め、安全第一に進めます。

【土の搬入概要】

搬入量：約56,000 m³

搬入期間：11月から4月

搬入時間：8：30～16：00頃

搬入台数：1日100台から150台



ストックヤード棟建設に伴う土の搬入

【今後のスケジュール】

期間		2023年		2024年																
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月								
解体工事	杭引抜	→																		
	付属建物等撤去	←																		
ストックヤード棟 外構工事	造成	←																		
	建築		←																	
	外構																			

【旧工場棟解体工事写真】



杭の引抜状況



擁壁解体状況

【熱回収施設等の整備スケジュール】（年度）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
								現在 ↓	
設計									
第1期工事	旧管理棟・旧花の家解体工事 造成工事								
第2期工事			工場棟建築工事・プラント工事 新管理棟建築工事						
						★ 2022年1月～ 施設稼働		運営開始	
第3期工事						既存工場棟解体工事			
第4期工事						ストックヤード棟・外構工事			